



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.family.ne.jp/~k-itou/index.html>

学校統廃合、外部委託、使用料値上げ

近藤区政の暴走ストップを!



10月から年金の支給額削減が行われ、ひきつづき社会保障の大改悪、来年4月からの消費税8%への増税、原発再稼働・汚染水処理漏れ、TPP参加、憲法を踏みこじる集団自衛権の行使、特定秘密保護法案などアメリカと一緒に競争できる国づくりに突き進もうとする安倍政権の暴走が加速しています。

足立区政でも行政のあり方を

行政のあり方を変えてしまう大規模な「外部化」「民営化」「区民サービス低下と負担増

変えてしまう大規模な「外部化」

「民営化」と使用料・手数料の値上げ、学校統廃合強行と「近藤区政の暴走」が大問題になっています。

暴走に反撃が広がる

いま国民の反撃が各地で広がり、足立区内では11月22日(金)午後7時開会で千住仲居町公園で「消費税増税許すな、いのち・暮らし、営業を守れ」と区民運動がくり上げられます。

日本共産党は、区議会で区民の願いを実現するために放射能汚染対策協議会の設置を求める条例と、食品の安全をまもる放射能測定器を区独自で実施できるように求める条例の2つを提案し民主党は賛成。しかし、自民などと党が否決しました。

区民の暮らし応援する 財源はあります

決算審議では、区民の所得が

日本共産党

減って15歳までの子どもがいる家庭は、年少扶養控除の廃止(24年度)で増税になり、区民のくらしはますます追い詰められています。一方で区財政は基金への積立金は、23年度比132%増で102億円を積み立てています。(自由に使える)財調基金と減債基金は、総額1046億円、財調基金225億円、減債基金129億円。基金1046億円は港区に次いで23区で2番目に多い額で「お金がない」は通用しません。ごまかします。日本共産党は区民の暮らしを支える財源はあることを明らかにしました。

プライバシーが守れない

近藤区政は、矢継ぎ早に「外部委託」をすすめ、戸籍業務は来年1月から5年で3億円以上を民間大手企業に

2面につづく

保塚写遊会 第20回

写真展

11月20日(水)~24日(日)

六町ミュージアム・フローラ

六町2-5-35

入場無料



第21回

増税よりも、被災地支援、原発ゼロを

北部ふれあいまつり



さあ!みんなで
来て下さい!

11月17日(日)

午前10時開会

陣川戸公園 花畑区民センター付近

北部ふれあいまつり実行委員会

1面よりつづく

学校統廃合、使用料値上げ許せますか

委ね職員の5割を外部化するとしていますが。国保は再来年から今いる職員105人中96人分を丸ごと外部化して年間5億3千万円、総額20億円以上かけるものです。

他に例をみない外部委託の拡大

こんな例は全国どこにもないと日本共産党が追及すると、近藤区長も認め、「トップランナーになる」との態度です。



国保や戸籍、印鑑証明などの業務の外部化は偽装請負の懸念がつきまとい、生活保護者リスト、婚姻、病气、収入など住民ひとり一人の個人情報を守れないような危険があります。

「プライバシーが守れない、外部委託するべきではない」

とくり返し中止を求めているのは日本共産党だけです。

地域住民の声聞かず学校統廃合を強行か？

区は「ガイドライン」を決定し、昨年6月に「今後統合すべき学校」33校を発表し児童数が増えているのに千寿第5小学校と五反野小学校を強引に統廃合しました。

案を強引に進めようとしています。区は「理解が得られた」「人口増はない」「避難所はなくなるが再編し対応する」などの態度です。

日本共産党は「子ども重視」と言いながら子ども犠牲に「地域と区民の声をいっさい聞こうとしない姿勢」「地域のコミュニケーションも防災の拠点も失う」もので統廃合計画は道理のないものを明らかにし中止すべきと追及しました。

新たに江北・鹿浜地域の小中学校8校を4校にする計画

新たな考え、やり方で使用料値上げ計画

え方を変えて、一斉に値上げしようとしています。値上げ額の計算に施設の光熱水費だけでなく職員の人件費、委託料、減価償却費まで入れたため、施設によっては数倍の値上げになることも認められています。使用料が大幅に値上げになり「激変緩和」をしても1・5倍の値上げになります。検討されている区の方針の撤回を求めました。

「区の土地にホテル建設を」の大合唱

区民の猛反対で千住の区役所跡のホテル建設が中止になったのは今から15年前です。

今度は綾瀬駅東口の子ども家庭支援センター後利用で、自民党議員がまたもや「ホテルを」の大合唱です。

えっ！またですか？

10月の決算特別委員会では、6日間の日程の中で自民党議員が4回も「ホテル建設」を迫る質問を繰り返し、自民党

は討論でも「ホテル建設」を求めました。「東京国体開催で綾瀬武道館利用の柔道・剣道関係者が区外に宿泊した」からとホテルを求める質問も行い、50年に一度の地元国体のためにホテルをつくるなんて何を考えているのでしょうか。

さすがに区側も「専門家の試算ではホテルは北千住以外では採算が成り立たない。ビジネスホテルに毛が生えたようなものでも無理。（自民党が求める）パンケット（パーティーなど宴会機能）付だ

は「業者から提案があれば検討する」旨の答弁でした。

日本共産党は、民間業者が民有地にホテルを進出することを否定はしていません。でも、区民の財産の区有地に、税金をかけて行うべきではないと考えています。

自民党議員は「ホテルは区民ニーズ」だといっています。みなさんのご意見をお寄せください。

と北千住でもベイできない」と、一度は否定しましたが、自民党議員の執拗な要求に最後